

## 【今週の注目疾患】

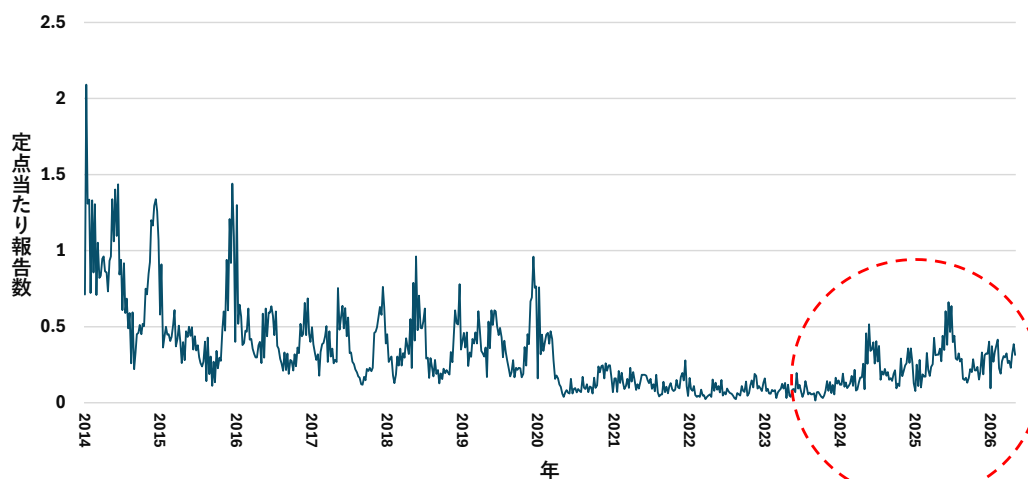
## 《水痘》

2026年第18週に県内の小児科定点医療機関から報告された定点当たり報告数は、0.31となった。

2014年10月1日から水痘の予防接種が定期接種となって以降、県内の定点当たり報告数は減少傾向にあり、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の発生した2020年から2023年にかけては、更に減少していたが、2024年以降、増加傾向にある（図1）。

2026年第1週から第18週までに報告された水痘578例のうち、性別は、男性が331例（57.3%）、女性が247例（42.7%）だった。年齢区分別は、5～9歳が283例（49.0%）で最も多く、次いで10～14歳の168例（29.1%）、1～4歳の90例（15.6%）が多かった。

図1：県内の水痘の定点当たり報告数の推移（2014年第1週から2026年第18週まで）



なお、水痘に関しては、小児科定点医療機関からの報告のほか、2014年9月19日以降（2014年第38週以降）、入院例を対象に全数把握によるサーベイランスが行われている。2026年第18週に県内医療機関から2例の届出があり、本年の累計届出数は10例となった。

性別は、男性が6例（60%）、女性が4例（40%）だった。年齢区分別は、30代・60歳以上が各3例（30%）、10歳未満・20代・40代・50代が各1例（10%）だった。症状は、発熱・発疹を呈した者が8例（80%）で、水痘の合併症として報告がある<sup>1)</sup>肺炎、脳炎、小脳炎、小脳失調、肝炎、心膜炎、細菌の二次感染による膿痂疹、蜂窩織炎、敗血症等を呈した症例はなかった。また、届出時点で妊婦水痘例や死亡例はなかった。

水痘とは、いわゆる「みずぼうそう」のことで、水痘帯状疱疹ウイルスによって引き起こされる発疹性の病気である。空気感染、飛沫感染、接触感染により広がり、潜伏期間は感染から2週間程度と言われている。発疹出現前から発熱が認められ、典型的な症例では、発疹は皮膚の表面が赤くなることから始まり、水疱、膿疱（粘度のあ

る液体が含まれる水疱) を経て痂皮化して治癒するとされる<sup>2)</sup>。

水痘は主に小児の病気で、9歳以下での発症が90%以上を占めると言われる。成人の水痘も稀にみられるが、成人が水痘を発症した場合、重症化するリスクが高いと言われている<sup>1)</sup>。また、出産5日前から出産2日後に母体が水痘を発症すると、妊婦自身が重症化する可能性に加え、児が重症の新生児水痘を発症する可能性がある<sup>1)</sup>。

水痘の予防接種は1回の接種により重症の水痘をほぼ100%予防でき、2回の接種により軽症の水痘も含めてその発症を予防できると考えられている。水痘ワクチンの定期接種は、生後12か月から生後36か月(1歳の誕生日の前日から3歳の誕生日の前日まで)の間に2回の接種を行うこととなっている<sup>2)</sup>。

### 県民のみなさまへ

- ・ 予防接種スケジュールに沿って、確実な接種をお願いします。
- ・ 感染予防のため、日頃から咳エチケット、こまめな手洗いといった基本的な感染対策を心がけましょう。
- ・ 感染が疑われるときは、事前に連絡した上で、速やかに医療機関を受診しましょう。

#### ■参考・引用

1) 厚生労働省：水痘(入院例に限る。)

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/01-05-140912-2.html>

2) 厚生労働省：水痘ワクチン

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/yobou-sesshu/vaccine/chickenpox/index.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/yobou-sesshu/vaccine/chickenpox/index.html)

### 【Topics】

#### 《ゴールデンウィークに海外へ渡航する・された皆様へ》

海外においては、国内では見られない感染症が流行していることがあり、海外滞在中に感染する可能性があります。海外へ渡航する際には、事前に渡航先における感染症の流行状況、現地滞在中の注意点、海外渡航に際し推奨されている予防接種をご確認ください。

また、感染症には、潜伏期間(感染してから発症するまでの期間)が数日から1週間以上と長いものもあり、渡航中や帰国直後に症状がなくても、しばらくしてから具合が悪くなる場合があります。その場合は、医療機関に事前に電話連絡して海外渡航歴があることを伝えた上で受診し、渡航先、滞在期間、現地での飲食状況、渡航先での活動内容、動物との接触の有無、ワクチン接種歴等についてお伝えください<sup>1,2)</sup>。

#### ■参考・引用

1) 厚生労働省：海外へ渡航される皆様へ

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou18/index\\_00003.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou18/index_00003.html)

2) 厚生労働省検疫所 FORTH：海外渡航者向けの予防接種実施機関(検索)

<https://www.forth.go.jp/moreinfo/vaccination.html>